

授業で活用する共通のルーブリック評価表〈経理科〉

達成度 何ができるようになるか 身に付けさせたい力			レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
①	実務に即した会計分野の知識と技術を習得し、社会的役割を理解することができる。	適切な取引の記録及び財務諸表を作成する力	適切な取引の記録及び財務諸表の作成の方法について、科学的な根拠に基づいて作成することができる。	適切な取引の記録及び財務諸表を作成することができる。	適切な取引の記録または財務諸表の作成することができる。	適切な取引の記録及び財務諸表の作成することができない。
		会計情報に関するデータを読み取る力	会計情報から企業の実態及び経営判断に及ぼす影響を会計的側面から、複数の財務指標を組み合わせ読み取ることができる。	会計情報から企業の実態及び経営判断に及ぼす影響を会計的側面から読み取ることができる。	会計情報から企業の実態を読み取ることができる。	会計情報から企業の実態を読み取ることができない。
		会計情報に関する資料を集約・計算する力	会計情報に関する資料を多面的・多角的に分析し、会計処理の方法の妥当性を確認し計算することができる。	会計情報に関する資料を多面的・多角的に分析し、計算することができる。	会計情報に関する資料を一つの側面から分析し、計算することができる。	会計情報に関する資料を集約・計算することができない。
		会計情報に関する資料を説明する力	会計情報に関する資料を当事者として意識をもち、総合的に分析した結果から妥当性と課題などの視点から他者へ説明することができる。	会計情報に関する資料を当事者として意識をもち、総合的に分析した結果から他者へ説明することができる。	会計情報に関する資料を総合的に分析した結果から他者へ説明しようとしている。	会計情報に関する資料を他者へ説明することができない。
②	職業人としての倫理観を培うことができる。	企業会計における法規と基準について適切に説明する力	企業会計における法規と基準について、その目的や役割も含めて説明することができる。	企業会計における法規と基準について、自ら資料から探し説明することができる。	企業会計における法規と基準について、他者からのアドバイスによって、資料をもとに説明することができる。	企業会計における法規と基準について説明できない。
		与えられた仕事を進んで最後までやり抜く力	与えられた仕事に対して自らの考えをもとにそれ以上の成果を出すことができる。	与えられた仕事について自ら考え、最後までやり抜くことができる。	他者のアドバイスによって与えられた仕事を最後までやり抜くことができる。	与えられた仕事を最後までやり抜くことができない。
		与えられた仕事に対して真面目に向き合う力	与えられた仕事に対して、前向きに捉え最後まで集中し真摯に取り組むことができる。	与えられた仕事に対して、最後まで集中し真摯に取り組むことができる。	与えられた仕事に対して真摯に取り組むことができる。	与えられた仕事に対して、真摯に取り組むことができない。
		社会のルールや人との約束を守る力	与えられた仕事に対して規則に則り余裕をもって完成することができる。	与えられた仕事に対して規則に則り期限を守ることができる。	与えられた仕事に対して期限については守ることができる。	規則や期限を守ることができない。
③	自ら課題を見だし、知識をもとに課題に対して創造的に解決する能力を身に付けることができる。	現状を分析し目的や課題を明らかにする力	与えられたテーマから問題を設定し、その問題を取り上げた理由など、根拠に基づいて述べるができる。	与えられたテーマから問題を設定し、その問題を取り上げた理由など、述べることができる。	与えられたテーマから問題を設定しているが、その問題を取り上げた理由などの内容が十分ではない。	与えられたテーマから問題を設定しているが、その問題を取り上げた理由などを述べることができない。
		課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	具体的な計画を立て、自ら行うべき内容を明らかにする。	課題の解決に向けたプロセスに応じて大まかな計画を立てることができる。	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし、計画を立てようとしている。	課題の解決に向けたプロセスを明らかにすることができない。
		新しい価値を生み出す力	自ら根拠に基づいた課題解決策を提案できる。	自ら指示された範囲の課題解決策を提案できる。	他者のアドバイスがあれば指示された範囲の課題解決策を提案できる。	指示された範囲の課題解決策を提案できない。
④	ビジネスの諸活動で主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けることができる。	自分の意見を分かりやすく伝える力	相手の興味を引くように工夫しながら自分の意見を述べるができる。	相手が理解できるように配慮し、自分の意見を述べるができる。	相手のことを意識して、自分の意見を述べるができる。	伝えたい内容を相手に伝えることができない。
		相手の意見を丁寧に聴く力	相手の意見に即した質問をすることができる。	相手の意見を記録し整理することで、理解を深めようすることができる。	相手の意見を理解しようとしている。	相手の意見を理解していない。
		意見の違いや立場の違いを理解する力	違う意見に対し、比較・検討することで新たな解決策を提案できる。	意見の違いの理由を理解するために、質問するなどして、意見の違いを裏付けることができる。	意見の違いを理解しようとしている。	意見の違いを理解しようとしていない。
		他者に働きかけ巻き込む力	自らの意見に賛同を得るとともに他者の意見を取り入れつつ物事を進めることができる。	自らの意見に賛同を得て、他者とともに物事を進めることができる。	自らの意見をもとに、他者とともに物事を進めることができる。	他者とともに物事を進めることができない。